

2025 年度定時株主総会 ライブ配信中に頂いたご質問へのご回答

2025 年度定時株主総会（2026 年 6 月 19 日開催）に際しまして、ライブ配信ウェブサイトから多くのご質問・ご意見を頂戴致しましたこと、お礼申し上げます。ライブ配信中にお寄せ頂いたご質問のうち、株主の皆さまのご関心が高いと思われる事項についてご回答申し上げます。

質問①

当社株価について

回答

① 株価の推移

2 月以降、米国市場では SaaS 銘柄からエネルギー・コモディティ等の実物資産関連へ資金が向かう流れ（所謂 HALO (Hard Asset Low Obsolescence) トレード）が見られる中、当社においても、米国シェールガス事業参画公表や市場予想を上回る決算公表等を通じ、経戦 2027 で定めた KPI 達成に対する市場の解像度が高まり、当社の持続的な成長力への評価が高まった結果、株価は他商社や市場平均をアウトパフォームしながら、速いスピードで上昇しました。5 月の決算公表後には、5 月 15 日の取引時間中に一時 6,000 円を付けましたが、その後は投資資金の AI・半導体関連銘柄へのローテーション加速もあり、上昇ピッチが速かった反動として、足もとでは株価は調整・足踏み局面にあると認識しています（年初来では現時点*でも約 27%の上昇）。

② 株価への評価

足元の当社株価水準は PER 約 16 倍と TOPIX 並みまで切り上がり*、商社セクター内でも最高水準となっています。これは資本効率向上や利益成長期待に加え、中長期的な成長余力が株式市場において評価された結果であると認識しております。引き続き営業収益キャッシュフロー、利益、EPS、DPS、ROE 等の各種指標を高めることを通じて、中長期的な企業価値向上を実現し、株価・時価総額の向上を目指してまいります（*6 月 19 日終値基準）。

質問②

銅権益への投資について

回答

銅需要については、人口増に伴うインフラ需要に加え、脱炭素・電化トレンドの進展に伴い今後も堅調に増加していくことが見込まれます。一方、既存鉱山の供給量は鉱石品位低下等で減少しており、開発許認可取得の難化等により大規模鉱区の開発難度も上昇しています。当社は銅需給のタイト化を見据え、これまで培ってきた鉱山開発・操業知見・業界ネットワークを活かし、既存資産の競争力強化・拡張と共に、新規優良資産の取得等を通じて持分生産量の引き上げに取り組んでいます（現在 33 万トン→2030 年度以降 40 万トン～）。

昨年度は、米国カッパー・ワールド未開発銅鉱山の権益取得やチリ・ロスブロンセス銅鉱山と Corporación Nacional del Cobre de Chile（通称：コデルコ）保有の隣接鉱山の一体操業の合意を致しました。

質問③

資本効率の向上に向けた経営管理制度について

回答

当社は各事業に設定される要求利回りの積み上げにより、各営業グループ／全社の見做し株主資本コストを算出し、全社 ROE 目標 12%以上の達成に必要な超過リターンを、各営業グループに按分する形で各グループの ROE 目標を設定しております。

個別の投融資については、定量・定性の両面で規律を以て意思決定し、毎年全事業投資先をレビューし事業環境の変化を把握したうえで、戦略・成長性や効率性をレビューすることで、効果的な追加投資や資産入替によるポートフォリオの質的向上に向けた取り組みを続けています。

詳細については、[MCSV Creation Forum～Investor Day 2026～資料](#)をご参照ください。